



4. (2)① ix) 宇宙科学・探査及び有人宇宙活動

年度	平成 27年度 (2015年度)	平成 28年度 (2016年度)	平成 29年度 (2017年度)	平成 30年度 (2018年度)	平成 31年度 (2019年度)	平成 32年度 (2020年度)	平成 33年度 (2021年度)	平成 34年度 (2022年度)	平成 35年度 (2023年度)	平成 36年度 (2024年度)	平成 37年度 以降
27 国際 有人 宇宙 探査	<div style="text-align: center;"> <h3>国際有人宇宙探査</h3> <p>★ 第2回国際宇宙探査 フォーラム(ISEF2)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>国際宇宙探査 の検討に向け た原則とすべき 基本的な考え 方を取りまとめ</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>技術検討等</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>技術実証</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・深宇宙補給技術(ランデブ・ドッキング技術等)</li> <li>・有人宇宙滞在技術(環境制御技術等)</li> <li>・重力天体離着陸技術(高精度航法技術等)</li> <li>・重力天体表面探査技術 (表面移動技術、掘削技術、水氷分析技術等)</li> </ul> </div> </div> <p style="text-align: center;">↕ 連携(得られる知見の活用) ↕</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 40%;"> <p>(参考)火星衛星サンプルリターン計画(MMX) 調査研究 / 開発研究</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 40%; text-align: center;"> <p>戦略的中型1</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 10%; text-align: center;"> <p>▲ 運用</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 45%;"> <p>(参考)小型月着陸実証機(SLIM)の開発</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 10%; text-align: center;"> <p>▲ 運用</p> </div> </div> </div>										
	<p>※以上すべて文部科学省</p>										

## 27 国際有人宇宙探査

### 成果目標

【基盤】 他国の動向も十分に勘案の上、その方策や参加の在り方について、慎重かつ総合的に検討を行う。

### 平成29年度末までの達成状況・実績

■ 他国の動向も勘案の上、我が国としての国際宇宙探査の検討に向けた原則とすべき基本的な考え方について、取りまとめを行った。

■ 第2回国際宇宙探査フォーラム(ISEF2)を平成30年3月に東京で主催し、上記考え方を踏まえ、参加各国と今後の国際宇宙探査について意見交換を行う。

### 平成30年度以降の取組

■ 米国が構想する月近傍の有人拠点への参画や、国際協力による月への着陸探査活動の実施などを念頭に、国際プログラムの具体化が図られるよう、主体的に技術面や新たな国際協調体制等の検討を進める。

■ 国際宇宙探査のプログラムの具体化に先立ち、我が国として優位性や波及効果が見込まれる技術の実証に、宇宙科学探査における無人探査と連携して取り組む。